

行事 イベント 報告

令和4年2月15日（火）開催

新春研究発表会

オンライン・対面の併用にて開催

於：山の上ホテル 銀河の間



下田正弘教授

恒例の新春研究発表会が、本

年度は、オンラ

イン・対面の併

用にて、山の上

ホテル・銀河の

間で午後4時半～午後6時に開催

されました。講師は、令和3年度

中村元東方学術賞受賞者の下田正

弘氏（東京大学教授）です。講演

は「大乘仏教の起源を再考する」と

題し、大乘仏教の成立をめぐる

研究動向の紹介から、過去の研究

の問題点をあぶりだし、最新の学

説を唱えるという、刺激的な講演

となりました。講演後には、聴講

者から講師への質問が、オンライ

ン・会場の双方から多数寄せられ、熱のこもった応答が行われました。出席者はオンライン52名・対面32名、合計85名を数え、盛会のうちに円了しました。



左から高橋堯英司会・釈悟震総務・藤井教公総括理事長・下田正弘教授



令和4年7月2日（土）開催

令和4年度研究員総会

於：身延別院



令和4年度研究員総会が、7月2

日（土）午後2時

～午後4時、身延

別院（中央区小伝

馬町）にて開催さ

れ、16名の専任研究員が出席し

ました。2年ぶりの対面開催にな

ります。藤井教公総括研究員の開

会挨拶および総括研究員就任のス

ピーチに始まり、執行部から研究員に対する事務連絡等が行われました。また、後半では、2022年度就任の専任研究員による研究発表会が行われました。まず、板敷真純研究員による「中世真宗における親鸞門流の形成とその展開」、東海林克也研究員による「神仏習合研究とその周辺」が発表され、様々な研究分野の先輩研究員による質問と議論が活発に展開されました。



質疑応答の時間



集合写真



新 刊 案 内

宮元啓一 著

『新訳 ミリンダ王の問い』

ーギリシア人国王とインド人仏教僧との対論』

紀元前の仏教・インド哲学の古典的名著『ミリンダ王の問い』をさらにわかりやすくし、一冊にまとめた新訳決定版。パーリ語原典からの全訳。

単行本：416 頁

出版社：花伝社

発売日：2022 年 2 月 21 日

ISBN-13：978-4-763-40998-0

言語：日本語

定価：3,520 円（税込）

